



食育だより

令和4年 12月
長松小学校



子どもたちの感想です



いくつかを
紹介します

「おにぎりの日」ありがとうございました

11月に取り組んだ「おにぎりの日」。自分ですべて作るコース、親子で一緒に作るコース、弁当箱につめるコースなど、5つのコースを設定して行いましたが、当日は、さまざまな大きさや形、味付け、いろいろな具のおにぎりがそろいました。「これ、自分で作った〜!」「〇〇(家族)と一緒に作ったよ!」などと、ニコニコと嬉しそうにおにぎりを見せてくれたり、友だちと見せ合いっこをしたりする姿が見られ、おいしそうなおにぎりと、子どもたちの笑顔がいっぱいありました。

実施後のアンケートでは、「おうちの人とおにぎりの具や量について話をした」「おうちの人といっしょに作った」と答えてくれた人が非常に多く、親は「親子の会話が増えた」、子どもは「親に感謝したい」という感想が多くありました。また、「おいしかった」「楽しかった」という感想もたくさんあり、お米を洗って炊いたり、一人でおにぎりを作ることに挑戦したり、お弁当箱に詰めることや後片付けをしたりと自分ができることに取り組んで、そこにさまざまな気づきがあり、達成感を味わうことができたのではないかなと思います。子どもたちの成長を感じられたというおうちの方からのコメントも多くいただきました。

「食べ物は体をつくる。食べ方は心をつくる。」という言葉があります。これからも、生涯の健康な体や心を、日常の「食」を通じて育てていけたらと思っています。保護者のみなさまには、とても大切な時間を作ってくださったことに感謝します。「おにぎりの日」の取り組みにご協力いただき、本当にありがとうございました。



・おかあさんのおにぎりとはかたちがちがった。ぼくがつくったかたちはまるしかくだったけど、がんばったからおいしかったです。

・おにぎりをつくってかたづけまですることがたいへんだとおもいました。じぶんでにぎったおにぎりは、とてもおいしかったです。またおかあさんといっしょにつくりたいです。

・おにぎりはじめて自分で作ったので、ドキドキしました。でもうまくできたので、また自分でおにぎりを作りたいです。

・作ってとても楽しかったです。みんないろいろなおにぎりをもってきていて「すごいな」と思いました。おにぎりの日じゃなくても、おにぎりを作ろうと思います。

・むずかしくて、しっばいを5回いじょうしました。いつもつくってくれるお母さんをすごいなと思いました。おべんとうにつめるのもじぶんでしました。おいしかったです。お母さんはつくってないけど、「おいしかった」と言っておべんとうばこはじぶんであらいました。

・自分でおにぎりをにぎれたので、とてもうれしかったです。とてもおいしかったです。つぎつくるときは、さいしょからさいごまで自分でつくろうと思います。

・私はSコースを選んで全て一人でしたけど、けっこう大変でした。自分で作ったおにぎりは最高にいいしくてごちそうのように思えました。またやってみたいと思いました。クラスのみんなもこせいのなにおにぎりを作ってきたのですごいいいと思いました。

・いつもふつうに食べていたおべんとうも、本当はつくるの大変なんだなと思いました。

・次はもっと練習して、お母さんみたいにきれいな三角形の形にできるようになりたいです。

・おにぎりの具や量は、家族と話し合っ作れたので楽しかったです。家族と協力したおにぎりはおいしかったです。

・はじめは簡単だと思っていたけど、いざ練習したらむずかしかったです。でも、たくさん練習した成果が出て、スムーズに出来たのでよかったです。

・おにぎりを作ってみて、「いつもお母さんはこういうことをしているんだなあ」と思いました。いつも忙しいのに、家族のためにごはんを作って片付けまでしているのはすごいなあと思いました。これからは、手伝ったり、できることはやったりして、少しでも役に立てるようにしていきたいです。

・おにぎりの日の前日にのりを自分で準備したり、具について話し合ったりして、取り組めたのでよかったです。朝、家族と協力して準備ができたので、これからも自分からごはんの手伝いができるといいなと思います。

裏面へ⇒